



2024年9月25日

各 位

会社名 ノイルイミューン・バイオテック株式会社
代表者名 代表取締役社長 玉田 耕治
(コード番号：4893 東証グロース市場)
問合せ先 取締役管理部長兼 CFO 永井 寛子
ir@noile-immune.com

NIB103 の開発におけるタカラバイオ株式会社との業務提携に関するお知らせ

当社は、本日、タカラバイオ株式会社（本社：滋賀県草津市、代表取締役社長：仲尾 功一、以下、タカラバイオ）との間で、当社パイプライン NIB103 の共同開発に関する業務提携契約（以下、本契約）を締結しましたので、お知らせいたします。

当社は、6月28日付でお知らせしました通り、NIB103 を最優先パイプラインとして選定し、その開発に取り組んでおります。タカラバイオは、CAR-T 細胞や TCR-T 細胞を含めた遺伝子改変 T 細胞療法の製造及び開発において豊富な経験を有しており、同社と提携することにより、当社は国内における NIB103 の製造体制を確立すると同時に、今後の開発のさらなる効率化、加速化を進めてまいります。

本契約により、今後当社はタカラバイオと共同で日本国内における NIB103 の開発を進めます。タカラバイオは NIB103 の治験用製品及び上市後の商業用製品の製造を独占的に担当すると同時に、治験用製品の製造に関連する費用を負担します。当社は、日本国内における NIB103 の製造を除く開発業務及び上市後の販売を独占的に担当し、それらに関連する費用を負担します。海外における NIB103 の開発、製造、販売に関する全ての権利は引き続き当社が独占的に所有します。両社は、本契約に基づき NIB103 の製造を速やかに開始します。

なお、本件による今期の業績への影響は軽微です。

以上

【NIB103 について】

NIB103 は当社独自の PRIME 技術を搭載した CAR-T 細胞であり、がん患者さんご自身のリンパ球を用いた自家の PRIME CAR-T 細胞です。NIB103 は、トリプルネガティブ乳がんや大腸直腸がん、卵巣がん、すい臓がんの一部に発現が認められる Mesothelin を標的としており、対象となりうる患者数は日本において年間 60,000 人程度、海外を含めると 367,000 人程度と想定しています。

【PRIME 技術について】

PRIME 技術とは、がん治療に用いる CAR-T 細胞などの免疫細胞をさらに改良して、インターロイキン-7 (IL-7) と CCL19 を産生させる当社独自の技術であり、T 細胞の増殖や生存維持を促進すると同時に、T 細胞や樹

状細胞の遊走能を向上させ、がんに対する治療効果を向上させる可能性を有しています。PRIME 技術は、がん局所に多くの CAR-T 細胞と体内の免疫細胞を集積させることで、がん細胞を攻撃しやすい環境を作ることを目的として開発されました。

詳細については、https://www.noile-immune.com/Our_Science/prime_car-t.html をご覧ください。

【ノイルイミュン・バイオテック株式会社について】

ノイルイミュン・バイオテック（TSE：4893）は、免疫細胞療法の治療効果を高める当社独自の革新的技術である「PRIME 技術」を搭載した PRIME CAR-T 細胞で、固形がんに対する次世代のがん免疫療法の実用化に取り組むアカデミア発のバイオテック企業です。PRIME 技術は、様々なキメラ抗原受容体(CAR)との組み合わせによる新規医薬品の創出や、多様なモダリティへの応用が可能で、他社技術との協働により今後多くのがん治療アプローチの開発が期待できます。ノイルイミュンは、日々の事業活動への取り組みを通じて、「がんを克服できる社会の創生に貢献する」ことを目指します。

詳細については、<https://www.noile-immune.com/> をご覧ください。

【タカラバイオ株式会社について】

タカラバイオ株式会社は、ライフサイエンス産業の総合ソリューションプロバイダー（プラットフォーム）です。1979 年に国産初の遺伝子工学研究用試薬（制限酵素）を発売、1988 年には日本で初めて遺伝子増幅システム PCR を販売するなど、現在では約 1 万点におよぶ遺伝子工学・細胞工学研究用製品を扱い、世界のライフサイエンス研究を支援しています。また近年では、再生・細胞医療・遺伝子治療分野の CDMO(Contract Development and Manufacturing Organization)として製薬企業やバイオベンチャーの開発・製造を支援するほか、遺伝子治療などの革新的なモダリティ（治療手段）の開発に挑戦しています。タカラバイオは、バイオテクノロジーを通じ健康的な暮らしを笑顔で楽しむ Smiles in Life を目指しています。

<https://www.takara-bio.co.jp/>

概要

(1) 名称	タカラバイオ株式会社 (コード番号：4974 東証プライム市場) (英語名：Takara Bio Inc.)			
(2) 所在地	滋賀県草津市野路東七丁目 4 番 38 号			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 仲尾 功一			
(4) 事業内容	試薬、機器、CDMO（受託）、遺伝子医療			
(5) 資本金	14,965 百万円（2024 年 3 月末現在）			
(6) 設立年月日	2002 年 4 月 1 日			
(7) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	記載すべき当該事項はありません。		
	人的関係	記載すべき当該事項はありません。		
	取引関係	記載すべき当該事項はありません。		
	関連当事者への該当状況	記載すべき当該事項はありません。		
(8) 当該会社の最近 3 年間の連結経営成績及び連結財政状態				
	決算期	2022 年 3 月期	2023 年 3 月期	2024 年 3 月期
純資産		96,064 百万円	112,454 百万円	111,784 百万円
総資産		115,712 百万円	129,202 百万円	121,252 百万円
1 株当たり純資産		796.18 円	931.93 円	926.00 円
売上高		67,699 百万円	78,142 百万円	43,505 百万円
営業利益		28,902 百万円	20,541 百万円	3,003 百万円

経常利益	28,459 百万円	20,682 百万円	3,405 百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	19,849 百万円	16,012 百万円	1,480 百万円
1 株当たり当期純利益	164.84 円	132.97 円	12.30 円
潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益	-円	-円	-円